

12月13日[Fri]

有限会社鹿島防災具店 感謝状贈呈



▲(左から)横尾市長、大石代表取締役社長、大石勝敏取締役

企業版ふるさと納税制度を活用して寄附金をいただいた有限会社鹿島防災具店(本社:鹿島市)の大石安兼代表取締役社長に感謝状を贈呈しました。今回いただいた寄附金は「多久市らしい地域づくりを行い、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」事業の一環で活用させていただきます。

贈呈式で大石代表取締役社長は「公立病院開院や災害対策、子どもたちの教育など市民のための安心安全な暮らしを創っていくためにご活用いただければ幸いです」と話され、横尾俊彦市長は「この度は熱いお気持ちと貴重なお心遣いをいただき大変うれしく思います。地域の安全面に考慮しながら、多久市らしいまちづくりをめざしていきます」と感謝の言葉を述べました。

1月10日[Fri]

多久市データヘルスプロジェクト始動へ



▲荻村代表取締役 医薬事業ユニット統括社長(右)と、協定式で健康に対する意識向上への期待を語った横尾俊彦市長(左)

医薬品の研究開発や製造販売を行う世界的な製薬企業の日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社と多久市が、国保データベース(KDB)を活用した保健事業の推進に関する連携協定を県内で初めて締結しました。

両者が強固に連携し、KDBをもとに開発した「糖尿病合併症リスク予測モデル」を活用。具体的で分かりやすい保健指導を行うほか、発症や重症化の予防にも役立てることをめざします。

協定式で荻村正孝代表取締役 医薬事業ユニット統括社長は「地域医療に貢献することも我々の使命です。多久市のみなさんの健康に寄与し、全国に広めていけるよう尽力します」と展望を語られました。

1月26日[Sun]

おかあさんといっしょ宅配便「ファンターネ!小劇場」開催



▲観客のみなさんはキャラクターの動きに合わせて体を動かし、ショーを楽しみました

市制施行70周年記念事業で、NHKの「おかあさんといっしょ」内の人気コーナー「ファンターネ!」のショーが中央公民館で開催されました。

ステージには、みもも、やころ、ルチータといったおなじみのキャラクターたちが登場。子どもも大人もステージのキャラクターたちと一緒に歌ったり手を上げたりと、笑顔あふれる時間を過ごされました。

市外から来場した親子は「子どもが大好きなキャラクターたちに会え、楽しんでくれてうれしいです。大人も一緒に楽しめました」とショーを満喫。2階にはフォトスポットも設置され、終演後には記念撮影をする家族の列ができました。

02	まちの話題
04	移住・定住助成制度
06	多久市からのお知らせ
15	あじさいへ行こう!
16	教育委員会だより
17	市長コラム
18	健康ノススメ
20	おたっしゅだより
22	まちのPickUPインフォメーション
26	Hi! POSE ほか

今月の論語

徳不孤、必有隣。
徳は孤ならず
必ず隣有り

出典…里仁第四

徳ある人は決して孤立しない。必ず理解者や仲間が現れるものである

今月の帰宅放送は、東原彦倉西溪校9年の諸岡 莉桜さんです。



多久市公式
X (旧Twitter)



多久市公式
YouTube



多久市公式
Instagram



多久市公式
Facebook

